

平成25年（2013年）

# 家計調査の結果概要

－ 富山市の家計 －

富 山 県

総務省統計局「家計調査」により作成

# I 利用者のために

## 1 調査の目的

家計調査は、国が行う重要な統計として統計法（平成 19 年法律第 53 号）による基幹統計に指定されており、総務省統計局が毎月実施している統計調査である。

この調査は、世帯の得た収入がどのようなものにいくら支出されたか、その支出の仕方が収入、世帯人員、年齢、職業など世帯の属性によってどのように異なっているかなど、国民生活における家計収支の実態を把握して、国の経済政策・社会政策の立案のための基礎資料を得ることを目的としている。

## 2 調査の対象

家計調査は、全国の世帯を調査対象としている。ただし、下記に掲げる世帯等は、世帯としての収入と支出を正確に計ることが難しいことなどの理由から、調査を行っていない。

- (1) 学生の単身世帯
- (2) 病院・療養所の入院者、矯正施設の入所者等の世帯
- (3) 料理飲食店、旅館又は下宿屋（寄宿舍を含む。）を営む併用住宅の世帯
- (4) 賄い付きの同居人がいる世帯
- (5) 住み込みの営業上の使用人が 4 人以上いる世帯
- (6) 世帯主が長期間（3 か月以上）不在の世帯
- (7) 外国人世帯

## 3 調査世帯の選定

調査対象世帯が全国の世帯の縮図となるよう、統計理論に基づいて世帯を選定している。具体的には、層化三段抽出法により、全国で約 9,000 世帯を無作為に抽出している。

層化三段抽出法とは、3 段階に分けて調査世帯を選ぶ方法である。まず、第 1 の段階では、全国の市町村をいろいろな特性によりグループ（層）に分け、それぞれのグループから一つずつ合計 168 市町村を選ぶ。次に第 2 の段階では、各市町村から調査単位区を無作為に選ぶ。第 3 の段階では、乱数表を用いて調査単位区内のすべての世帯から調査世帯を無作為に選んでいる。

調査単位区は 1 年間継続して調査し、毎月 12 分の 1 ずつが新たに選定した単位区と交替する。調査世帯は、二人以上の世帯については 6 か月、単身世帯については 3 か月継続して調査され、順次、新たに選定された世帯と交替する仕組みになっている。

なお、全国及び富山県の調査世帯数は次のとおりである。

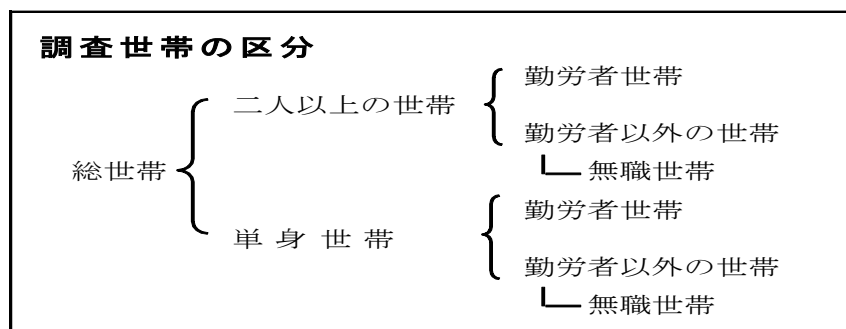
【家計調査 調査世帯数（平成 25 年）】

| 区 分     | 全 国   | 富 山 県 |     |     |     |
|---------|-------|-------|-----|-----|-----|
|         |       | 富山市   | 射水市 | 魚津市 | 計   |
| 総 世 帯   | 8,821 | 104   | 26  | 13  | 143 |
| 二人以上の世帯 | 8,076 | 96    | 24  | 12  | 132 |
| 単 身 世 帯 | 745   | 8     | 2   | 1   | 11  |

（注）本書では、富山市分についてのみとり上げる。

## 4 調査世帯の区分

調査世帯は、世帯主（家計上の主たる収入を得ている人）の職業により、次のように区分している。



「勤労者世帯」：世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などに雇われて勤めている世帯。

ただし、世帯主が社長、取締役、理事など会社・団体の役員である世帯は「勤労者以外の世帯」に含める。

「勤労者以外の世帯」：上記の「勤労者世帯」以外の世帯。例えば、世帯主が自営業者、個人経営者など上記の使用者側にある世帯。

「無職世帯」：「勤労者以外の世帯」のうち、世帯主が無職である世帯。

## 5 調査事項

調査は、4種類の調査票を用いて行う。

「世帯票」：世帯構成、世帯員の年齢、職業、住居に関する事項

「家計簿」：日々の収入・支出（勤労者以外の世帯（無職世帯を除く。）は支出のみ）、購入数量（二人以上の世帯のみ） ※家計簿の記入は6か月間（単身世帯は3か月間）。

「年間収入調査票」：過去1年間の収入

「貯蓄等調査票」（二人以上の世帯のみ）：貯蓄・負債の保有状況、住宅などの土地・建物の購入計画

## 6 本書の利用上の留意点

- （1）本書は富山市分についての調査結果をまとめたものであるが、調査世帯数が少ないため、標本誤差が大きいことに留意する必要がある。
- （2）本書の中で表示した数値は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳を足し上げても必ずしも合計とは一致しない。

## 7 用語の説明

### 収 支 項 目

#### （1）収 入

|                      |   |                                                        |
|----------------------|---|--------------------------------------------------------|
| 実収入                  | … | いわゆる税込み収入であり、世帯員全員の現金収入を合計したもの。                        |
| 実収入以外の受取<br>（繰入金を除く） | … | 言わば「見せかけの収入」であり、現金が手元に入るが、一方で資産の減少、負債の増加を伴うもの。         |
| 繰入金                  | … | 前月から持ち越した世帯の手持ち現金。                                     |
| 受 取                  | … | 「実収入」のほか、「実収入以外の受取（繰入金を除く）」、前月からの「繰入金」を含み、「支払」と一致している。 |

## (2) 支 出

|                      |                                                                            |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 実支出                  | … 「消費支出」と「非消費支出」を合計した支出。                                                   |
| 消費支出                 | … いわゆる生活費のことであり、日常の生活を営むに当たり必要な商品やサービスを購入して実際に支払った金額。                      |
| 非消費支出                | … 税金や社会保険料など、原則として世帯の自由にならない支出。                                            |
| 実支出以外の支払<br>(繰越金を除く) | … 言わば「見せかけの支出」であり、預貯金、投資、財産購入、借金返済など、手元から現金が支出されるが、一方で資産の増加あるいは負債の減少を伴うもの。 |
| 繰越金                  | … 当月末における世帯の手持ち現金。                                                         |
| 支 払                  | … 「実支出」、「実支出以外の支払（繰越金を除く）」、翌月への「繰越金」から成り、「受取」と一致している。                      |

## (3) その他

|        |                                                                                                                                                |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 可処分所得  | … 「実収入」から税金、社会保険料などの「非消費支出」を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のこと。これにより購買力の強さを測ることができる。<br>$\text{可処分所得} = \text{実収入} - \text{非消費支出}$                           |
| 黒 字    | … 「実収入」と「実支出」との差であり、マイナスの場合は赤字ということになる。これは「可処分所得」から「消費支出」を差し引いた額とも同じである。<br>$\text{黒字} = \text{実収入} - \text{実支出} = \text{可処分所得} - \text{消費支出}$ |
| 貯蓄純増   | … 「預貯金」と「保険掛金」の合計から「預貯金引出」と「保険取金」の合計を差し引いたもの。<br>$\text{貯蓄純増} = (\text{預貯金} + \text{保険掛金}) - (\text{預貯金引出} + \text{保険取金})$                     |
| 金融資産純増 | … 「貯蓄純増」に「有価証券購入」と「有価証券売却」との差を加えたもの。<br>$\text{金融資産純増} = \text{貯蓄純増} + (\text{有価証券購入} - \text{有価証券売却})$                                        |

## 各 種 比 率

|         |                                                                                                          |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| エンゲル係数  | … 消費支出に占める食料費の割合であり、生活水準の高低を表す一つの指標となる。<br>$\text{エンゲル係数 (\%)} = \text{食料費} \div \text{消費支出} \times 100$ |
| 黒字率     | … 可処分所得に対する黒字の割合。<br>$\text{黒字率 (\%)} = \text{黒字} \div \text{可処分所得} \times 100$                          |
| 平均貯蓄率   | … 可処分所得に対する貯蓄純増の割合。<br>$\text{平均貯蓄率 (\%)} = \text{貯蓄純増} \div \text{可処分所得} \times 100$                    |
| 金融資産純増率 | … 可処分所得に対する金融資産純増の割合。<br>$\text{金融資産純増率} = \text{金融資産純増} \div \text{可処分所得} \times 100$                   |
| 平均消費性向  | … 可処分所得に対する消費支出の割合。<br>$\text{平均消費性向 (\%)} = \text{消費支出} \div \text{可処分所得} \times 100$                   |

## 実質増減率

… 名目増減率から消費者物価変動の要素を除いたもの。

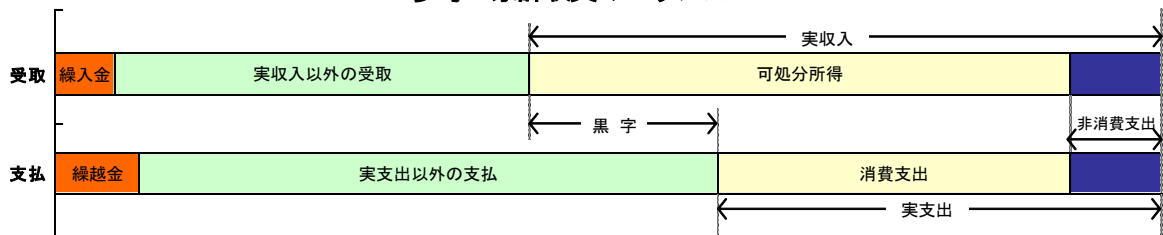
消費支出の各項目ごとの対前年実質増減率は、次式により求めている。

なお、実収入、可処分所得及び消費支出は、消費者物価指数の持家の帰属家賃\*を除く総合指数の変化率を用いている。

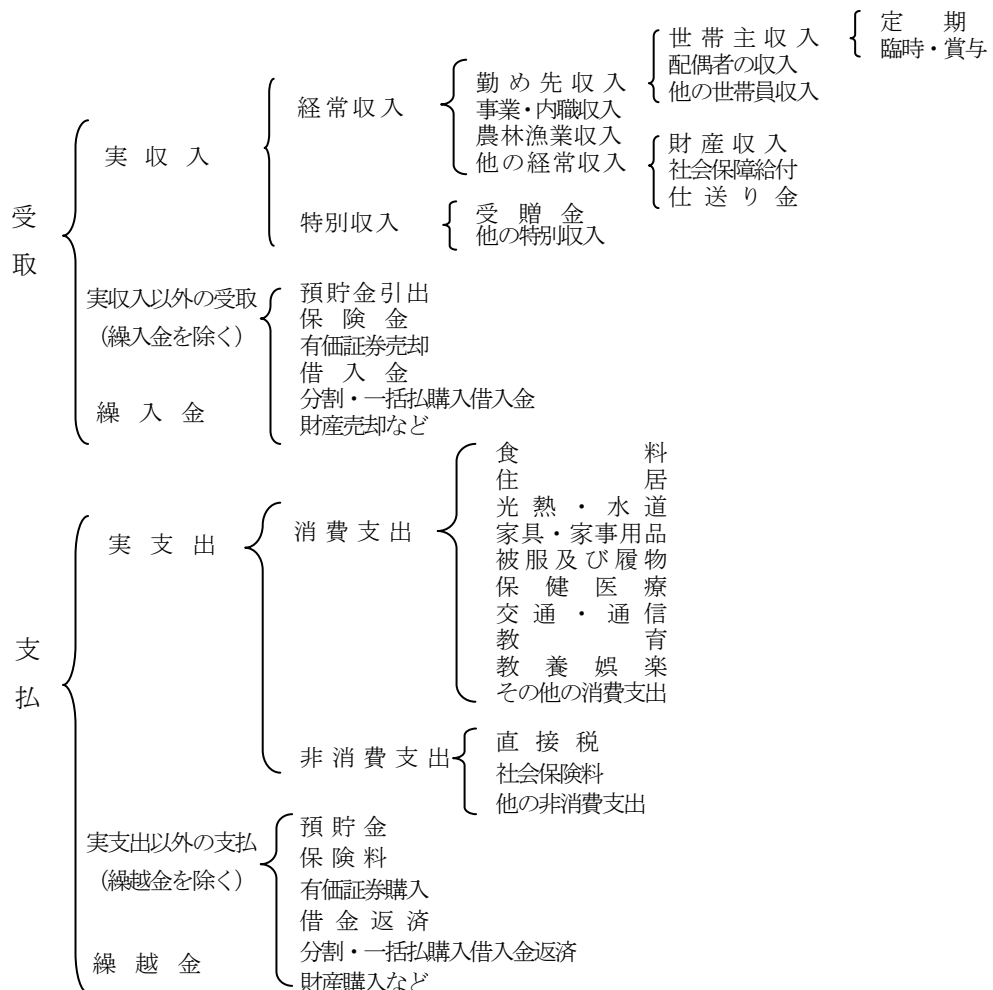
$$\text{実質増減率 (\%)} = \left[ \frac{100 + \text{名目増減率}}{100 + \text{各項目に対応する消費者物価指数の変化率}} - 1 \right] \times 100$$

※持家の帰属家賃・持家の住宅を借家とみなした場合、支払われるべき家賃

## 参考：家計収支のバランス



## <収支項目分類の体系>



## 貯 蓄

ゆうちょ銀行、郵便貯金・簡易生命保険管理機構（旧日本郵政公社）、銀行及びその他の金融機関（普通銀行等）への預貯金、生命保険及び積立型損害保険の掛金（加入してからの掛金の払込総額）並びに株式、債券、投資信託、金銭信託等の有価証券（株式及び投資信託については調査時点の時価、債券及び貸付信託・金銭信託については額面）といった金融機関への貯蓄と、社内預金、勤め先の共済組合などの金融機関外への貯蓄の合計をいう。

なお、貯蓄は世帯全体の貯蓄であり、また、個人営業世帯などの貯蓄には家計用のほか事業用も含める。

### （１）金融機関等への預貯金

- |        |   |                                                                                                               |
|--------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 通貨性預貯金 | … | ゆうちょ銀行の通常貯金、銀行及びその他の金融機関（信用金庫、信用組合、労働金庫、商工組合中央金庫、農業・漁業の協同組合等）の普通預金、当座預金、通知預金、納税準備預金などをいう。                     |
| 定期性預貯金 | … | ゆうちょ銀行の定額貯金及び定期貯金、郵便貯金・簡易生命保険管理機構の定額郵便貯金、定期郵便貯金及び積立郵便貯金、銀行及びその他の金融機関の各種定期預金、定期積金などをいう。                        |
| 生命保険など | … | 生命保険会社の積立型生命保険、損害保険会社の損害保険（火災・傷害保険のうち、満期時に満期返戻金が支払われる積立型のもの）、農業協同組合の養老生命共済及び郵便貯金・簡易生命保険管理機構で取り扱っている簡易生命保険をいう。 |
| 有価証券   | … | 国債、地方債、公社・公団債、金融債、事業債などの債券、公社債投資信託（学校債及び農地被買収者国庫債は含めない。）、株式・株式投資信託、信託銀行に信託して運用する貸付信託、金銭信託などをいう。               |

### （２）金融機関外への預貯金

社内預金、勤め先の共済組合などへの預貯金などをいう。

### （３）年金型貯蓄

簡易生命保険のうち年金商品（旧郵便年金）、個人年金信託、生命保険会社の個人年金、財形年金貯蓄などをいう。公的年金（厚生年金、国民年金及び共済年金）や企業年金は含めない。

## 負 債

ゆうちょ銀行、郵便貯金・簡易生命保険管理機構、銀行、生命保険会社、住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）などの金融機関からの借入金のほか、勤め先の会社、共済組合及び親戚・知人からの借入金並びに月賦・年賦の残高など金融機関外からの借入金の合計をいう。

なお、負債は世帯全体の負債であり、個人営業世帯などの負債には家計用のほか事業用の負債も含める。

### （１）住宅・土地のための負債

住宅を購入、建築又は増改築（修繕等工事も含む）したり、土地を購入するために借り入れた場合の借入金残高。

### （２）住宅・土地以外の負債

生活に必要な資金、事業に必要な開業資金、運転資金などを借り入れた場合で、「（３）月賦・年賦」以外の借入金残高。

### （３）月賦・年賦

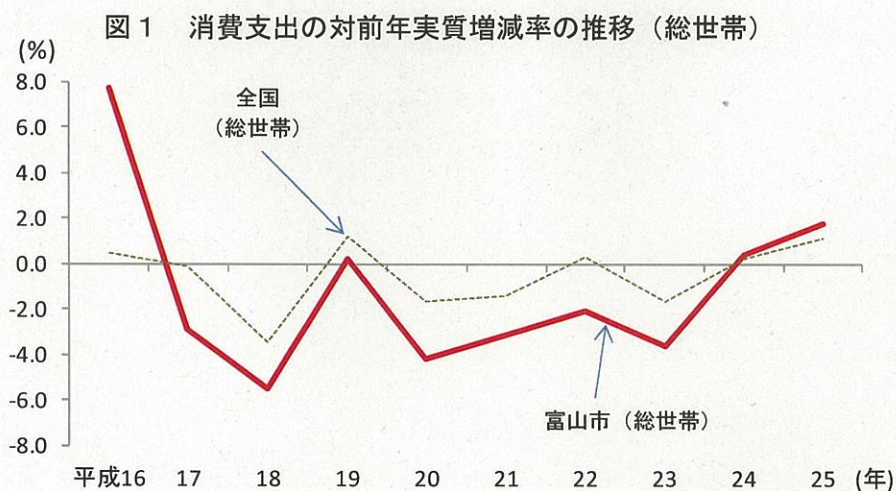
乗用車、電化製品、衣類など月賦・年賦で購入した場合の未払残高。

## Ⅱ 富山市の家計収支

### 1 総世帯の家計

#### (1) 消費支出の概況 —消費支出は、対前年実質 1.8%の増加（全国は 1.1%の増加）—

平成 25 年の総世帯の消費支出は、平均世帯人員 2.33 人、世帯主の平均年齢 50.2 歳（全国平均 平均世帯人員 2.44 人、世帯主の平均年齢 58.0 歳）、1 世帯当たり 1 か月平均 267,672 円（全国平均 251,576 円）で、前年に比べ、名目 2.0%の増加（全国平均 1.6%増加）、物価変動の影響を除いた実質でも、1.8%の増加（全国平均 1.1%の増加）となった。



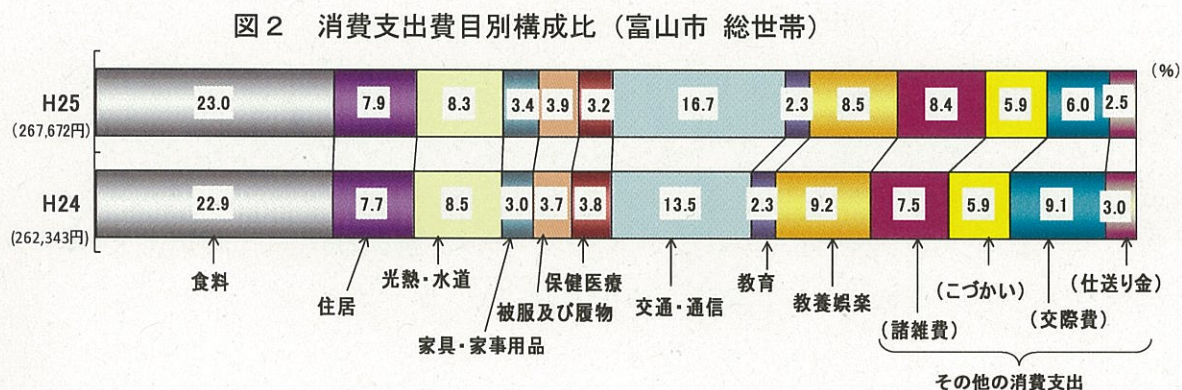
#### (2) 消費支出の費目別構成比

##### —食料、交通・通信などが上昇、教養娯楽、その他の消費支出が低下—

消費支出の費目別構成比をみると、「食料」の占める割合（エンゲル係数）は、調理食品、酒類、外食の増加などにより、前年に比べ 0.1 ポイント上昇して 23.0%となった。また、「交通・通信」(16.7%) が 3.2 ポイント、「家具・家事用品」(3.4%) が 0.4 ポイント、「住居」(7.9%) 及び「被服及び履物」(3.9%) が 0.2 ポイントそれぞれ上昇した。

一方、交際費などの「その他の消費支出」(22.8%) が 2.6 ポイント、「教養娯楽」(8.5%) が 0.7 ポイント、「保健医療」(3.2%) が 0.6 ポイント、「光熱・水道」(8.3%) が 0.2 ポイント、それぞれ低下した。

なお、「教育」(2.3%) は、前年と変わらなかった。



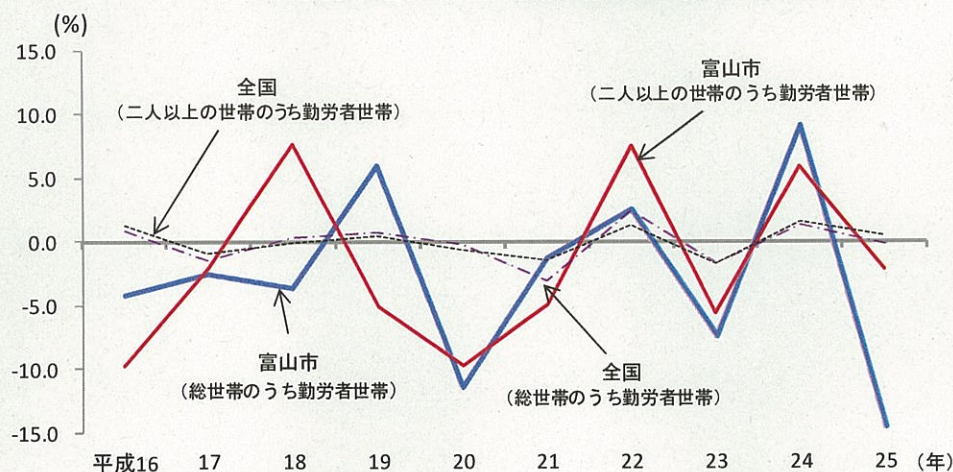
## 2 総世帯のうち勤労者世帯の家計

### (1) 実収入の概況 —実収入は、対前年実質 14.6%の減少（全国は 0.3%の減少）—

総世帯のうち勤労者世帯の実収入は、平均世帯人員 2.34 人、世帯主の平均年齢 40.9 歳（全国平均 平均世帯人員 2.76 人、世帯主の平均年齢 46.2 歳）で、1 世帯当たり 1 か月平均 479,927 円（全国平均 468,570 円）となった。前年に比べ、名目 14.4%の減少（全国平均 0.2%増加）、実質 14.6%の減少（全国平均 0.3%減少）となった。

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入は、平均世帯人員 3.40 人、世帯主の平均年齢 46.8 歳（全国平均 平均世帯人員 3.42 人、世帯主の平均年齢 48.0 歳）、1 世帯当たり 1 か月平均 599,995 円（全国平均 523,589 円）で、前年に比べ、名目 2.0%の減少（全国平均 1.0%増加）、実質 2.2%の減少（全国平均 0.5%増加）となった。

図3 実収入額の対前年実質増減率の推移（勤労者世帯）

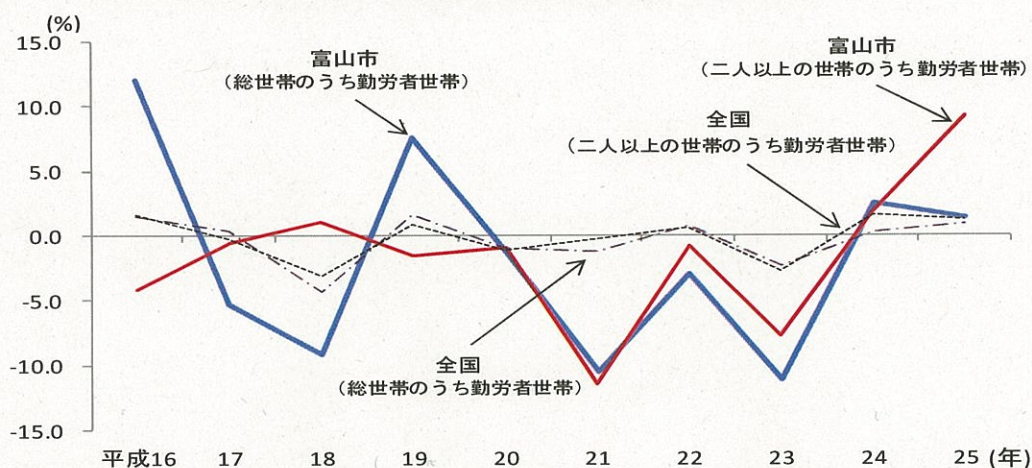


### (2) 消費支出の概況 —消費支出は、対前年実質 1.4%の増加（全国は 0.9%の増加）—

総世帯のうち勤労者世帯の消費支出は、1 世帯当たり 1 か月平均 283,847 円（全国平均 280,642 円）で、前年に比べ、名目 1.6%の増加（全国平均 1.4%の増加）、実質 1.4%の増加（全国平均 0.9%の増加）となった。

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の消費支出は、1 世帯当たり 1 か月平均 348,396 円（全国平均 319,170 円）で、前年に比べ、名目 9.4%の増加（全国平均 1.7%の増加）、実質 9.2%の増加（全国平均 1.2%の増加）となった。

図4 消費支出額の対前年実質増減率の推移（勤労者世帯）



### Ⅲ 全国からみた富山市の家計収支の特徴

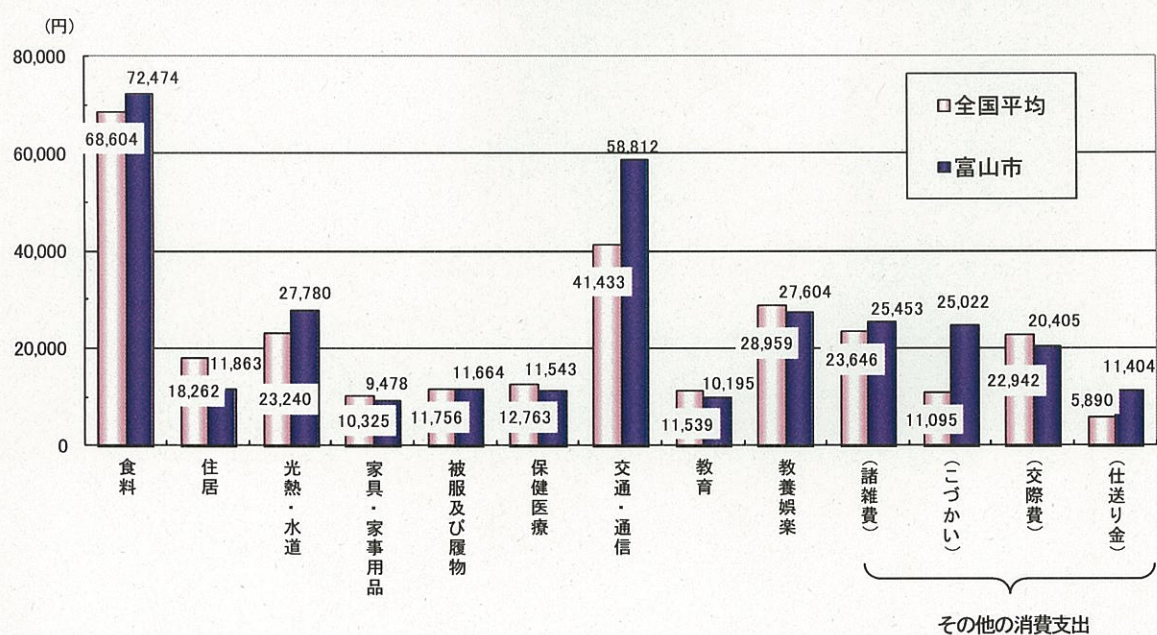
#### 1 二人以上の世帯の家計

##### (1) 消費支出の概況 —消費支出は、全国3位—

平成25年の二人以上の世帯の消費支出は、平均世帯人員3.20人、世帯主の平均年齢55.7歳（全国平均 平均世帯人員3.05人、世帯主の平均年齢57.9歳）、1世帯当たり1か月平均323,697円（全国平均290,454円）で、全国3位となった。（都道府県庁所在市別順位、以下同じ。）前年に比べ、名目6.3%の増加（全国平均1.5%の増加）、実質でも6.1%の増加（全国平均1.0%の増加）となった。

消費支出の内訳を、全国と比べると、「その他の消費支出」の「こづかい（使途不明）」と、「交通・通信」が全国を大きく上回っている。

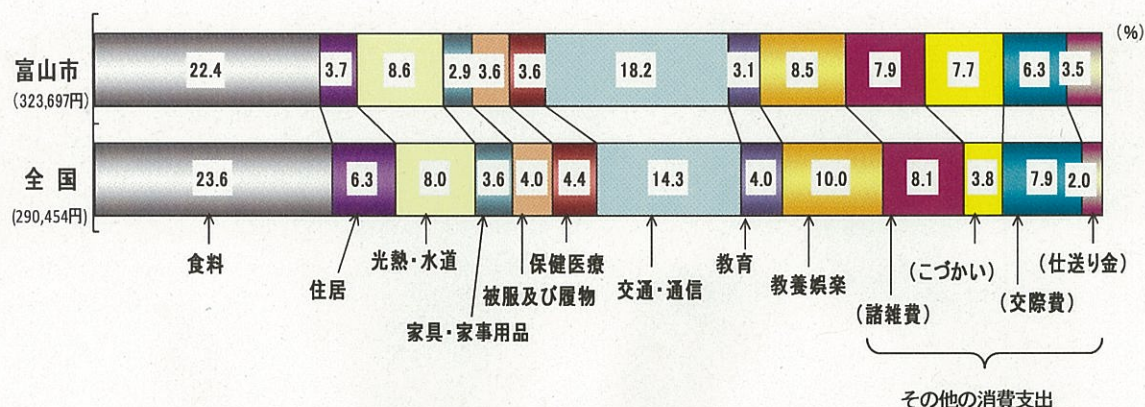
図5 消費支出の費目別支出金額（二人以上の世帯、用途分類、平成25年）



##### (2) 消費支出の費目別構成比

消費支出の費目別構成比を全国と比べると、自動車等関係費を含む「交通・通信」、「光熱・水道」、「その他の消費支出」のうち「こづかい」及び「仕送り金」の割合が全国より高くなっている。

図6 消費支出の費目別構成比（二人以上の世帯、用途分類、平成25年）



## 2 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計

### (1) 実収入の概況 ー実収入は、全国3位ー

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり1か月平均599,995円で、全国3位となった。勤め先収入において、配偶者収入が減少したことから、実収入は対前年で実質2.2%減少した。

実収入の内訳を全国と比べると、勤め先収入のうち、世帯主の配偶者の収入、他の世帯員収入が全国を大きく上回っていることに加え、他の経常収入の中の公的年金給付も同じく全国を上回っている。その要因として、1世帯当たりの有業人員が1.97人、年金受給対象である65歳以上の人員が0.27人と、全国平均に比べて多いことが考えられる。

表1 1世帯当たり1か月平均の収入（二人以上の世帯のうち勤労者世帯、平成25年）

|      |               | 富山市      |      |             | 全国       |             |
|------|---------------|----------|------|-------------|----------|-------------|
|      |               | 実数       | 全国順位 | 勤め先収入に占める割合 | 実数       | 勤め先収入に占める割合 |
| 世帯構成 | 世帯人員          | 3.40人    | 26位  | -           | 3.42人    | -           |
|      | 65歳以上人員       | 0.27人    | 6位   | -           | 0.22人    | -           |
|      | 有業人員          | 1.97人    | 2位   | -           | 1.70人    | -           |
|      | 世帯主の年齢        | 46.8歳    | 37位  | -           | 48.0歳    | -           |
| 収入   | 実収入           | 599,995円 | 3位   | -           | 523,589円 | -           |
|      | 経常収入          | 589,183円 | 5位   | -           | 515,232円 | -           |
|      | 勤め先収入         | 536,890円 | 11位  | (100.0)%    | 486,587円 | (100.0)%    |
|      | 世帯主収入         | 397,130円 | 30位  | 74.0%       | 415,595円 | 85.4%       |
|      | 配偶者収入         | 83,067円  | 7位   | 15.5%       | 61,347円  | 12.6%       |
|      | 他の世帯員収入       | 56,692円  | 1位   | 10.5%       | 9,646円   | 2.0%        |
|      | 事業・内職収入       | 4,382円   | 9位   | -           | 2,467円   | -           |
|      | 他の経常収入        | 47,912円  | 2位   | -           | 26,168円  | -           |
|      | 社会保障給付（公的年金等） | 35,122円  | 2位   | -           | 17,036円  | -           |
| 支出   | 実支出           | 425,508円 | 17位  | -           | 416,626円 | -           |
|      | 消費支出          | 348,396円 | 5位   | -           | 319,170円 | -           |

### (2) 可処分所得の概況 ー可処分所得は、全国1位ー

可処分所得は、522,883円（全国平均426,132円）で、全国1位となった。前年に比べ、名目1.6%の減少（全国平均0.3%の増加）、実質1.8%の減少（全国平均0.2%減少）となった。

### (3) 消費支出の概況 ー消費支出は、全国5位ー

#### ア 消費支出

消費支出は、348,396円（全国平均319,170円）で、全国5位となった。前年に比べ、名目9.4%の増加（全国平均1.7%の増加）、実質9.2%の増加（全国平均1.2%の増加）となった。

#### イ 非消費支出

税金、社会保険料などの非消費支出は、77,112円（全国平均97,457円）で、前年に比べ、名目4.8%の減少（全国平均4.2%増加）となった。

#### （４）平均消費性向、黒字率、平均貯蓄率等 ー黒字は、全国１位ー

平均消費性向は、66.6％（全国平均 74.9％）となり、前年より 6.7 ポイント増加し、全国 45 位となった。消費に回らない残りは、601,165 円（全国平均 523,178 円）で、主に貯蓄や住宅ローンの返済に向けられている。

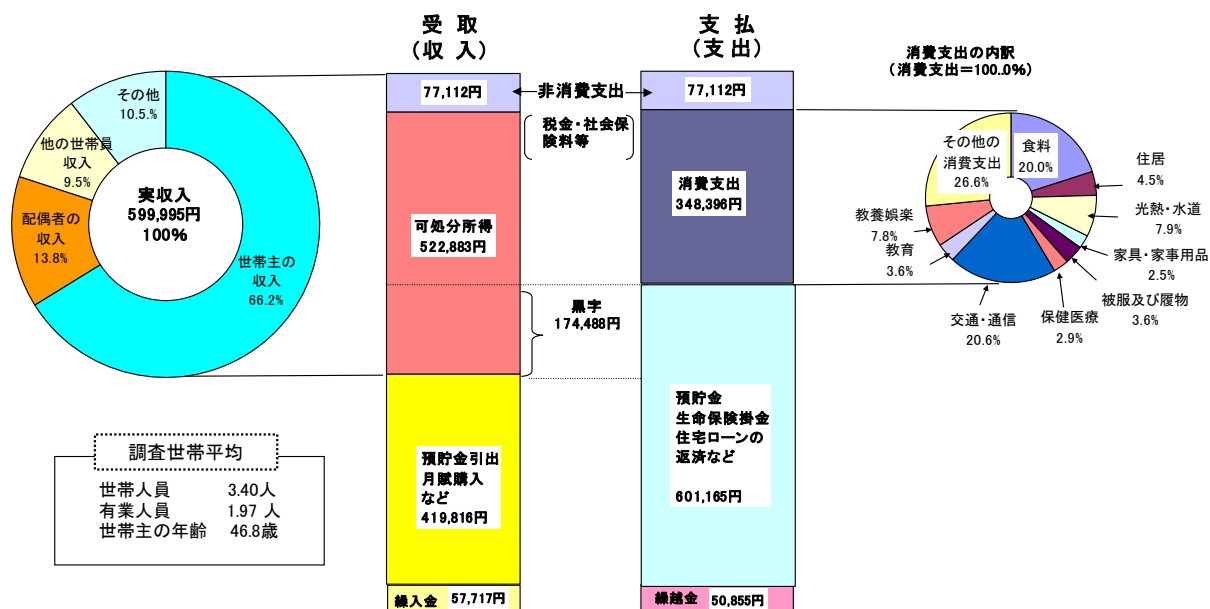
黒字は 174,488 円（全国平均 106,962 円）で全国 1 位、黒字率は 33.4％（全国平均 25.1％）で全国 3 位となり、前年より 6.7 ポイント減少した。

黒字のうち貯蓄純増は 144,525 円（全国平均 74,287 円）で全国 2 位、平均貯蓄率は 27.6％（全国平均 17.4％）で全国 4 位となり、前年より 8.5 ポイント減少した。

表２ １世帯あたり１か月平均の消費支出及び黒字  
（二人以上の世帯のうち勤労者世帯、平成 25 年、（）書きは平成 24 年）

|          | 富山市                           | 全国順位                      | 全 国                    |
|----------|-------------------------------|---------------------------|------------------------|
| 可処分所得（円） | <b>522,883</b><br>（ 531,325 ） | <b>1位</b><br><b>（1位）</b>  | 426,132<br>（ 425,005 ） |
| 消費支出（円）  | <b>348,396</b><br>（ 318,468 ） | <b>5位</b><br><b>（21位）</b> | 319,170<br>（ 313,874 ） |
| 黒字（円）    | <b>174,488</b><br>（ 212,856 ） | <b>1位</b><br><b>（1位）</b>  | 106,962<br>（ 111,131 ） |

図７ 家計収支状況（富山市 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



# TOPIC

## 3年平均で見る富山市の家計消費の特徴 （二人以上の世帯） ～全国ランキングから～

富山市の最近の家計消費の特徴的な品目について、最近3ヵ年平均による品目別都道府県ランキング（都道府県庁所在市別順位）を中心に見てみる。

なお、3年平均を用いるのは、調査世帯数が少ないことによる標本誤差の影響を避けるためである。

### ① 食料品

魚介類への1世帯当たり年間の支出金額は、常に全国のトップクラスに位置する。平成23～25年平均では、ぶり、いか、魚介の漬物（みそ漬、昆布締め等）が全国1位となっている。特にぶりは単年で見ても全国1位を保っており、42年連続で全国1位である。

富山湾を臨み、豊富な水産資源に恵まれ、新鮮な食材が手に入りやすいことに加え、主として保存を目的として工夫されてきた多様な食べ方が地域に根づいていることなども背景にあると考えられる。魚は富山市の食生活に密接に関わっているといえる。

表3 食料品における富山市民の嗜好（二人以上の世帯、品目分類）

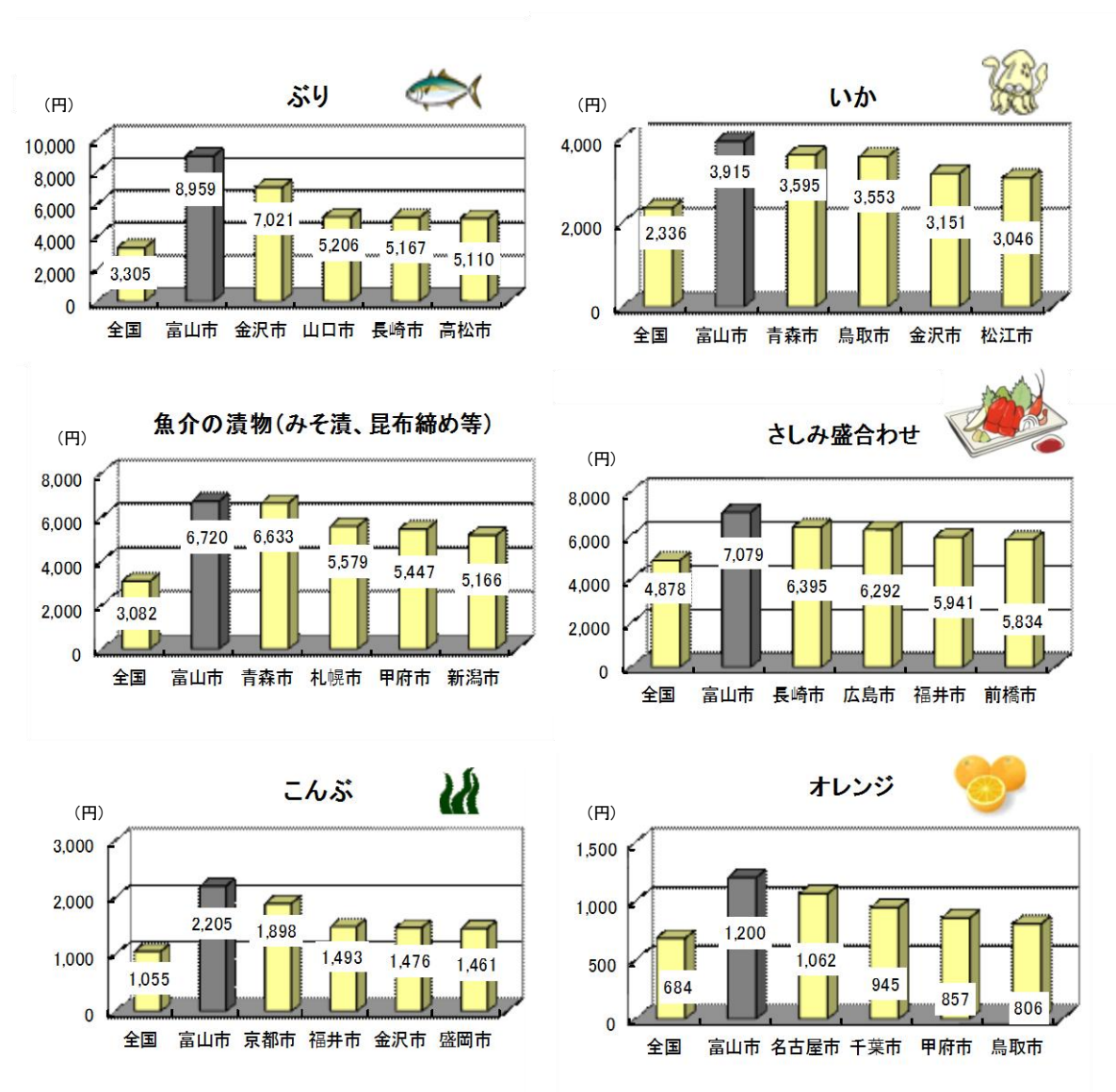
|      |    |     | 平成25年                                           | 平成23～25年平均                                          |
|------|----|-----|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 支出金額 | 上位 | 1位  | ぶり ハム キャベツ 生しいたけ オレンジ<br>冷凍調理食品 アイスcream・シャーベット | ぶり いか さしみ盛合わせ 生しいたけ<br>魚介の漬物(みそ漬、昆布締め等)<br>こんぶ オレンジ |
|      |    | 2位  | もち なす こんぶ ゼリー 魚介の漬物(みそ漬、昆布締め等)<br>サラダ カツレツ      | だいこん漬 アイスcream・シャーベット<br>他の酒(ブランデー、果実酒等)            |
|      |    | 3位  | いか さしみ盛合わせ かまぼこ はくさい漬 だいこん漬<br>プリン 天ぷら・フライ      | かまぼこ たけのこ 天ぷら・フライ<br>カツレツ                           |
|      | 下位 | 45位 | ケチャップ かつお節・削り節                                  | ちくわ 干しのり                                            |
|      |    | 46位 | 卵 食用油<br>マヨネーズ・マヨネーズ風調味料                        | かつお節・削り節 卵 マヨネーズ・マヨネーズ風調味料                          |
|      |    | 47位 | 砂糖                                              | 食用油 砂糖 ケチャップ                                        |
| 購入数量 | 上位 | 1位  | ぶり さしみ盛合わせ<br>ハム オレンジ                           | ぶり さしみ盛合わせ<br>ハム オレンジ パナナ                           |
|      |    | 2位  | カップめん                                           | こんぶ たけのこ だいこん漬 こんぶつくだ煮                              |
|      |    | 3位  | 他のパン(あんパン、メロンパン)<br>ソーセージ 生しいたけ はくさい漬 みそ        | 生しいたけ 豆腐                                            |
|      | 下位 | 45位 | かつお節・削り節 鶏肉 砂糖                                  | 食用油                                                 |
|      |    | 46位 | —                                               | 鶏肉                                                  |
|      |    | 47位 | 食用油                                             | かつお節・削り節                                            |

魚介類のほか、1世帯当たり年間の支出金額や購入数量が多いものとして、「こんぶ」がある。「こんぶ」の支出金額は、3年平均では全国1位となっているが、平成25年単年では、京都市について全国2位となった。これは、「こんぶ」の支出金額県庁所在地別ランキングが集計されるようになった昭和35年以来、初めて1位を明け渡したことになる、53年間続いた「こんぶ」の支出金額全国1位の記録が途切れる結果となった。

その他に、支出金額では「オレンジ」や「生しいたけ」も3年平均、25年単年で見ても全国1位である。

一方、支出金額や購入数量が少ないものとして、「かつお節・削り節」、「食用油」、「砂糖」等がある。

図8 富山市1世帯当たり年間の支出金額が全国1位の購入品目  
(二人以上の世帯、品目分類、平成23～25年平均)



## ② その他の品目

食料品以外の品目では、感冒薬、自動車購入、テレビゲーム機、シャンプー、祭具・墓石、こづかいなどが支出金額全国1位になっている。

自動車購入費の支出金額が1位なのは、自家用車の保有台数が多いこと（富山県1世帯当たり1.70台、全国2位：国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局「富山県運輸概況」（平成24年度））、道路整備率が高いこと（富山県74.9%、全国1位：国土交通省「道路統計年報」（平成24年））などにより、自家用車が通勤、買い物、レジャー等に多く用いられるためと考えられる。

また、世帯主や世帯員へのこづかい（使途不明）の1世帯当たり年間の支出金額は263,091円と高く全国1位であり、全国平均を大きく上回っている。

これらには、1世帯当たりの有業人員が多い（1.62人、平成25年）ことや、勤労者世帯の1世帯当たり1か月間の実収入が全国平均より高いことが影響していると考えられる。

表4 食料品以外で富山市の支出金額が全国1位の品目  
（二人以上の世帯、品目分類、平成23～25年平均）

| 品目分類       | 支出金額（円） |         |
|------------|---------|---------|
|            | 富山市     | 全 国     |
| 感冒薬        | 2,604   | 1,994   |
| 自動車購入      | 131,474 | 69,394  |
| テレビゲーム機    | 2,166   | 1,236   |
| シャンプー      | 3,887   | 3,327   |
| 祭具・墓石      | 22,609  | 5,130   |
| こづかい（使途不明） | 263,091 | 139,082 |



## IV 富山市の貯蓄・負債（二人以上の世帯）

### 1 貯蓄の状況

#### （１）二人以上の世帯の貯蓄現在高は 1,632 万円

平成 25 年の二人以上の世帯の 1 世帯当たり貯蓄現在高は 1,632 万円（全国平均 1,739 万円）となり、年間収入は 668 万円（全国平均 616 万円）、貯蓄年収比（貯蓄現在高の年間収入に対する比）は 244.3%（全国平均 282.3%）となった。

このうち勤労者世帯についてみると、1 世帯当たり貯蓄現在高は 1,422 万円（全国平均 1,244 万円）となり、年間収入は 739 万円（全国平均 708 万円）、貯蓄年収比は 192.4%（全国平均 175.7%）となった。

表 5 貯蓄現在高及び年間収入（二人以上の世帯、平成 25 年）

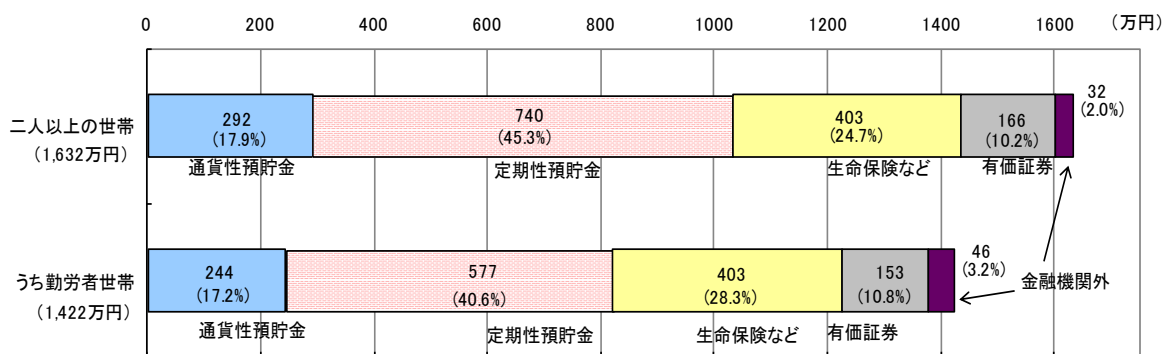
| 項 目  |           | 二人以上の世帯 |       | うち勤労者世帯 |       |
|------|-----------|---------|-------|---------|-------|
|      |           | 富山市     | 全国    | 富山市     | 全国    |
| 世帯構成 | 世帯人員（人）   | 3.20    | 3.07  | 3.41    | 3.43  |
|      | 有業人員（人）   | 1.63    | 1.35  | 2.00    | 1.72  |
|      | 世帯主の年齢（歳） | 55.8    | 57.6  | 46.6    | 47.9  |
| 貯蓄   | 貯蓄現在高（万円） | 1,632   | 1,739 | 1,422   | 1,244 |
|      | 年間収入（万円）  | 668     | 616   | 739     | 708   |
|      | 貯蓄年収比（%）  | 244.3   | 282.3 | 192.4   | 175.7 |

#### （２）定期性預貯金の占める割合が高い

二人以上の世帯について、1 世帯当たり貯蓄現在高を貯蓄の種類別にみると、定期性預貯金が 740 万円（貯蓄現在高に占める割合 45.3%）と最も多く、次いで「生命保険など」が 403 万円（同 24.7%）、通貨性預貯金が 292 万円（同 17.9%）、有価証券が 166 万円（同 10.2%）、金融機関外が 32 万円（同 2.0%）となった。

このうち勤労者世帯についてみると、定期性預貯金が 577 万円（同 40.6%）、次いで「生命保険など」が 403 万円（同 28.3%）、通貨性預貯金が 244 万円（同 17.2%）有価証券が 153 万円（同 10.8%）、金融機関外が 46 万円（同 3.2%）となった。

図 9 貯蓄の種類別現在高及び構成比（富山市 二人以上の世帯、平成 25 年）



## 2 負債の状況

### (1) 二人以上の世帯の負債現在高は 420 万円

二人以上の世帯の1世帯当たり負債現在高は420万円（全国平均499万円）で、負債の種類別にみると、住宅・土地のための負債が392万円、負債現在高に占める割合が93.3%と最も多い。

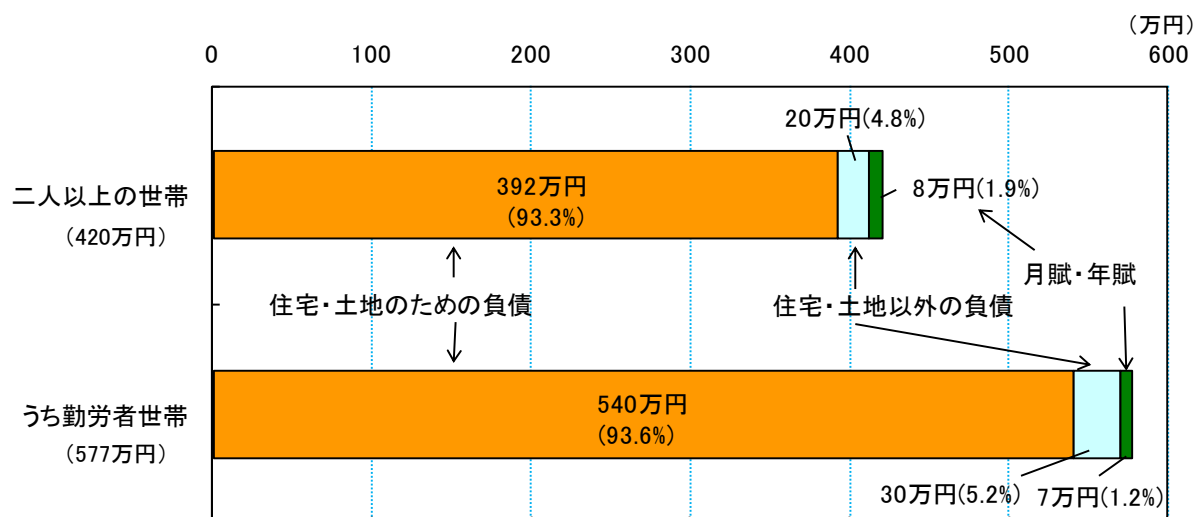
このうち勤労者世帯についてみると、1世帯当たり負債現在高は577万円（全国平均740万円）で、負債の種類別では、住宅・土地のための負債が540万円、負債現在高に占める割合が93.6%と最も多くなっている。

負債年収比（負債現在高の年間収入に対する比）をみると、二人以上の世帯は62.9%（全国平均81.0%）、このうち勤労者世帯は78.1%（全国平均104.5%）となった。

表6 負債現在高及び年間収入（二人以上の世帯、平成25年）

| 項 目                                  |     | 負債現在高                       |             |                | 年間収入        | 負債年収比                       |                |
|--------------------------------------|-----|-----------------------------|-------------|----------------|-------------|-----------------------------|----------------|
|                                      |     | 住 宅 ・ 土 地<br>の た め の<br>負 債 | 負 債 の 割 合   | 負債現在高          |             | 住 宅 ・ 土 地<br>の た め の<br>負 債 |                |
|                                      |     |                             |             |                |             |                             |                |
|                                      |     | (1)<br>(万円)                 | (2)<br>(万円) | (2)/(1)<br>(%) | (3)<br>(万円) | (1)/(3)<br>(%)              | (2)/(3)<br>(%) |
| 世<br>二<br>人<br>以<br>上<br>の<br>世<br>帯 | 富山市 | 420                         | 392         | 93.3           | 668         | 62.9                        | 58.7           |
|                                      | 全 国 | 499                         | 448         | 89.8           | 616         | 81.0                        | 72.7           |
| 世<br>う<br>ち<br>勤<br>労<br>者<br>世<br>帯 | 富山市 | 577                         | 540         | 93.6           | 739         | 78.1                        | 73.1           |
|                                      | 全 国 | 740                         | 687         | 92.8           | 708         | 104.5                       | 97.0           |

図10 負債の種類別現在高及び構成比（富山市 二人以上の世帯、平成25年）



平成 25 年 家計調査の結果概要 ー富山市の家計ー

平成 26 年 12 月

〈問合せ先〉

富山県 経営管理部 統計調査課 生計農林係

Tel 076－444－3194（直通）

Fax 076－444－3490

○家計調査の結果は、以下の URL でもご覧になれます。

- ・富山県 HP とやま統計ワールド

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/index2.html>

- ・総務省統計局家計調査 HP

<http://www.stat.go.jp/data/kakei/2.htm#new>（家計収支編）

<http://www.stat.go.jp/data/sav/1.htm>（貯蓄・負債編）